

## 高校生等との意見交換会の結果について

### 1 概要

平成20年5月から7月までの間、3回にわたり、当部会のメンバーが、高校、大学に赴き、高校生、大学生（留学生を含む。）との間で、成年年齢の引下げについて意見交換を行った。

これは、成年年齢の引下げを検討するに当たり、成年年齢の引下げによって一番影響を受けることになる18歳、19歳前後の若者の率直な意見を聞きたいという意見が当部会で出されたことから実施したものである。今回の意見交換会は、ある特定の高校及び大学の生徒・学生と意見交換を実施したものであり、必ずしも若者全体の意見を集約したものではないが、その中でもなるべく幅広い意見を聴取できるよう、高校における意見交換会については、普通高校のみならず商業高校にもご協力いただき、また、大学における意見交換会については、特定の学部及び出身国に偏らないよう配慮しつつ、日本人学生及び外国人留学生との意見交換会を実施した。

なお、本意見交換会は、対象者が高校生や大学生であり、議事を記録すると自由な発言が阻害されるおそれが高いことや、意見交換会の目的が若者の意見を集約することにはなく逐語の議事録を残す必要がないことなどから、議事録の作成はしないこととし、その代わりに、意見交換会に出席した部会の委員、幹事から、部会において、その結果、感想等を報告していただくこととした。

それぞれの意見交換会における結果、感想等の概要は、以下のとおりである。

### 2 都立芝商業高校における意見交換会について

(対象者)

16歳から18歳までの高校2年生、高校3年生 合計15名

(高校生の意見の概要等)

- ・ 成年年齢の引下げの議論は、大半の高校生が知らなかった。
- ・ 成年年齢の引下げについては、まだ高校生なのに急に大人といわれても困る、社会のことをもっと学んだ上でないと成人という自覚は生じないなどと、多くの高校生が反対であった。

もっとも、すぐに自分が大人になることについては、不安があるが、数

年前（自分が高校に入る前後）から18歳で成人であると言われていれば、心の準備はできると思う、18歳で成人となっても対応できるし、自覚も持てるので賛成であるという意見もあった。

- どのような節目で大人になると感じるかについては、大学を出て就職した時、給料を得て生活をまかなえるようになった時、他者の迷惑にならないような仕事ができるようになった時などの意見があった。
- 大人になることについては、大変そう、夢が持てないなど否定的なイメージを持っているが、身近な大人である親や学校の先生などについては好意的な印象を抱いている高校生が多かった。これから入っていかなければならない「社会」に対して、不安を抱いていたり、夢が持てないのではないかと考えられる。
- 契約については、成年年齢が下がると高校3年生でも契約をすることができるようになるが、マルチ商法に巻き込まれたりするのではないかという不安があるという意見があった一方、20歳でも騙される人は騙されるし、18歳でも賢い人はいるのであって、成年年齢の引下げにはあまり関係がないのではないかという意見もあった。
- アルバイトをしている高校生も多く、中には月に8万円も稼いでいる生徒もいたが、アルバイトをしていることは、必ずしも自立をしていることにはつながらないという意見があった。

なお、アルバイトをして稼いだお金については、親の同意なく使っているのが現実であり、法律上も親の同意なく使えるようにしたらどうかという意見があった。

- 高校を卒業したら一人暮らしをしたいという高校生はほとんどいなかった。高校生の多くが、豊かな家庭の中で、居心地がよいと感じており、その関係の中から出て行くことに不安があるのではないかと思われる。
- 選挙については、選挙権が与えられれば投票に行くと思うという意見が多かった。民法の成年年齢の引下げについては、経済的な自立をしなければいけないということで高校生の多くは強い不安を抱いているようだが、選挙年齢の引下げについては、特段不利益を受ける話ではないので受け入れやすいのかもしれない。

### 3 千葉県立八千代高校における意見交換会について

(対象者)

17歳から18歳までの高校3年生 合計17名

(高校生の意見の概要等)

- ・ 成年年齢の引下げの議論については、大半の高校生が知らなかった。
- ・ 成年年齢の引下げについては、社会を知らないので18歳で急に大人だと言われても困る、同じ高校生に成年者と未成年者が混じるのはよくないのではないかと、受験の最中に成人式を行うのは困るなど、多くの高校生が反対であった。また、日本は戦争をしない国で徴兵制もないのであるから、そのあかしとして、成年年齢は20歳のままでよいのではないかと意見もあった。

一方、悪い人に騙されないように勉強するなどの十分な準備期間があれば18歳でもよい、制度を変える場合には、分かりやすい制度にしてほしいという意見もあった。

- ・ 何歳ぐらいで大人になると思うかという質問に対しては、大学を卒業した時、親から自立して仕送りするようになった時などの意見があった。
- ・ 契約に関しては、携帯電話を購入するなど簡単なものであればよいが、土地取引など難しいものについては、18歳は無理ではないかと意見が出された。また、現実問題として、小遣いの範囲内であれば親に相談せず洋服などを購入しているが、高額な商品を購入する場合は親と相談しないとできない、契約は親にしてもらっているので自分でする必要性を感じないとの意見が出された。
- ・ アルバイトをしている高校生も多く、稼いだお金は洋服の購入や飲食に使っている者が多かったが、なかには進学後の学資を貯めている者もいた。
- ・ 結婚については、法律上18歳で親の同意なく結婚できるようになったとしても、18歳では家庭を養っていけないし、そもそも親から祝福されないで結婚しても嬉しくない、むしろ婚姻適齢に男女差があることを是正すべきではないかと意見があった。
- ・ 政治については、選挙年齢が18歳になったら必ず投票するという意見もあった一方で、よく分からないので棄権すると思う、人気投票になってしまう危険性がないかと意見もあった。

#### 4 早稲田大学における留学生との意見交換会について

(対象者)

留学生13名(20歳から25歳。出身国は、アメリカ、ブラジル、中国、カナダ、韓国、イタリア、フランス、ブルネイ、ウガンダ)

(留学生の意見の概要等)

- ・ 大人のイメージについては、何でも自分で決められる、自由である、大人に早くなりたかったと肯定的なイメージを抱いている留学生が多かったが、大人になると自分で働いて稼がなければならないのでなりたいたとは思わなかったと否定的なイメージを抱いている留学生もいた。
- ・ 日本人学生のイメージとしては、同世代と比較して大人に見えるという意見もあったが、日本ではいい大学に入れば就職することが難しくないため、やりたいことがはっきりせず、自立心が足りない学生が多いという意見もあった。
- ・ 日本において成年年齢を引き下げることについては、大半の留学生が問題がないという意見であったが、成年になる前にいろいろチャレンジして失敗しても許される期間を保障するという意味で、引き下げることには反対であるという意見もあった。
- ・ 選挙年齢については、18歳が妥当であると思うが、選挙権年齢と成年年齢は必ずしも一致する必要はないのではないかという意見もあった。

#### 5 早稲田大学における日本人大学生との意見交換会について

(対象者)

日本人大学生 17名(18歳から21歳。早稲田大学生(法学部、政治経済学部、商学部、文学部、社会科学部、文化構想学部)13名、他学生(上智大学、明治大学、フェリス女学院大学、慶応大学)4名)

(大学生の意見の概要等)

- ・ 成年年齢の引下げの議論については、大半の学生が知っていた。
- ・ 成年年齢の引下げについては、どちらかといえば反対の学生が多く、高校を卒業しただけでは社会も知らないのでは成年といわれても無理である、高校では大学受験のための教育しか行われておらず高校教育だけでは判断能力を身に付けられないという意見があった。一方、引下げによって判断

力や自立心が醸成される，18歳にしてもそれほど問題は起こらないのではないかとして，引下げに賛成する者もいた。

なお，賛成，反対いずれの立場の者も，成年年齢を引き下げするためには，契約に関する教育や責任感を醸成するための教育など教育を充実させる必要があるとの点では，共通していた。ただし，現状の高校教育は受験一辺倒であり，そのような教育を行う余裕があるのか疑問であるという意見もあった。

- 大人になるということについては，自分の稼いだお金で自分で生活できることである，何でも自分で決定できることである，自分の行動について自分で責任をとることができることであるという意見があった。
- 将来の就職については，明確な希望を持っている学生もいたが，やりがいがあってお金がもうかる仕事に就きたい，有名企業で収入が多いところに就職したいなどと漠然とした回答をする学生も多かった。
- 大半の学生がアルバイトをしていたが，アルバイト代は，趣味や遊興費に費消するという学生も多かった。
- 選挙年齢については，成年年齢と一致させた方が明確で分かりやすいという意見があった一方，年齢条項をどうするかは事柄ごとに考えればよく，必ずしも一致させる必要はないのではないかとという意見もあった。
- 諸外国の流れは，成年年齢を18歳にするということかもしれないが，日本は文化も価値観も違うので，必ずしも従う必要はないのではないかとという意見もあった。
- 大学生との意見交換会には，18歳から21歳の学生が参加したが，成熟度にばらつきがあると感じられ，これは年齢による差というよりも，それまでの生活体験の内容や，異文化体験の有無などが影響しているのではないかと思われる。
- 高校生との意見交換会では，大人に対して否定的なイメージをもっている生徒が多かったが，大学生との意見交換会では，自分の意見で何事も決定できるので楽しみであるなどと肯定的な意見を述べた学生も多かった。